

地域を支える病院を目指す

榛原総合病院は、医療法人沖縄徳洲会が指定管理者として運営を始めてから5年が経過しようとしています。住民の皆さんの期待に応えられるように、病院運営に取り組んでいます。問い合わせ 健康推進課 植松 〇(23)0025

病院の現状

昨年11月に南5病棟(南館5階)40床を再開し、長期的な入院など、患者さんの状態に合わせた対応ができるように取り組んでいます。総合内科や小児科、精神科の医師が加わり、常勤医が増え、診療体制の充実が進んでいます。

患者の声を聞く

榛原総合病院では、住民の皆さんの生命を守るため、24時間365日の診療体制をとっています。また、病院内に提案箱を設置し、寄せられた皆さんの意見を必ず院長が確認し回答することで、サービスの向上に努めています。



売店前ラウンジにある提案箱



森田信敏新院長メッセージ

地域にとって一番役立つ病院を目指す

一番役立つ病院とは

住民の皆さんに最も多い疾患に対応できることが、地域にとって一番役立つ病院であると考えます。

榛原総合病院は、十分でない部分もありますが、入院や手術などの急性期医療、療養病棟での慢性期医療を行い、関連施設の介護老人保健施設「あじさい」も設置されています。

また、訪問看護も含めて、急性期→亜急性期→慢性期の状態に一連の流れで対応できることが強みとなっています。

病院運営の方針

地域に密着する当院の重要な役割である救急は、大変忙しい状況が続いています。近隣病院間で不足する部分を相互に補っていることから、他

地域の救急車も受け入れており、当院の役割はこれまで以上に増えています。

また、訪問診療、訪問看護も増加しています。在宅医療への対応は当院の目玉ともいえる部分です。今後、ますます高齢者が増える中で、大いに展開していきたいと考えています。

健康事業につきましても、住民の皆さんの健康寿命を伸ばすために、これまで以上に力を入れていきたいと思っています。

そして、災害医療です。徳洲会にはT.M.A.T(世界中で災害医療救済活動や医療技術支援活動などを行っている団体)などの災害時応援体制が



命を救われた

まさに、一命を取り留めました。昨年の夏、風邪かなと思いきや、榛原総合病院を受診したところ、Eコー検査の結果で即手術が必要となり、静岡市立静岡病院へ救急車で運ばれました。

教育長 坪池 洋

心臓の動脈瘤破裂で助かる例は少なく、よくぞ助かったと思います。「心臓を詳しく見よう」と思って、画像を見ないと見つけるのは難しい」というのは、静岡病院のEコー技師さんの話です。



副看護部長 大井 陽江

積極的に進めています

超高齢社会の到来や患者さんの希望に対応するため、平成21年から、診療所の医師なども協力し、訪問診療、訪問看護を実施しています。気軽に相談してください。



南4病棟 松葉 真実

一緒に働きましょう

看護師が不足しています。復職を支援するための専門プログラムを用意しており、北海道や沖縄の院外研修もあります。病院で撮影されるドラマに、エキストラとして出演できます。

あり、東日本大震災の際にも活躍しました。免震構造の建物とヘリポート、富士山静岡空港に近い地の利などを生かし、訓練を通じて体制を整えていきたいと考えています。

地域医療を支える

地域医療を取り巻く環境は大変厳しい状況です。全国的には病院の集約化も議論されていますが、集約されれば、病院がない地域が生まれることになり、榛原総合病院は、建物新築し、住民の皆さんからは「頑張っ」と応援をいただいています。環境整備など、多くのボラ

これからの榛原総合病院

当院には長い歴史があります。技術や能力が蓄積され、働く文化がありました。徳洲会から来たスタッフもよく働いてくれ、伝統的な風土と徳洲会の文化が上手く融合しています。ここを伸ばしていきたいと考えています。

最後に、皆さんにお願いがあります。真に地域に役立つ病院実現のため、今、必要なのは看護師の確保です。ぜひ、一緒に頑張ります。そして、7階展望レストランには、診療やお見舞いだけでなく、ぜひ寄ってください。素晴らしい眺望ですよ。



もりた のぶとし

●昭和39年6月14日生まれの50歳。長泉町出身で現在は静海区在住。平成元年近畿大医学部卒業後、浜松医大整形外科に入局。その後、富士宮市立病院などを経て、平成14年榛原総合病院に赴任。平成23年から副院長を務め、今年1月に院長に就任。専門は整形外科。趣味は映画館での映画観賞。